【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公表番号】特表2001-501633(P2001-501633A)
【公表日】平成13年2月6日(2001.2.6)
【出願番号】特願平10-517138
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０７Ｄ 251/18
　Ａ０１Ｎ　43/68
　Ｃ０７Ｄ 401/12
　Ｃ０７Ｄ 409/12
【ＦＩ】
　Ｃ０７Ｄ 251/18　　Ｄ
　Ａ０１Ｎ　43/68
　Ｃ０７Ｄ 401/12
　Ｃ０７Ｄ 409/12

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月28日(2004.9.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成１６年９月２８日

特許庁長官　小川　洋　殿

１．事件の表示

平成１０年特許願第５１７１３８号

２．補正をする者

事件との関係　　特許出願人

名称　バイエル・アクチエンゲゼルシヤフト

３．代理人

〒107-0052
住所　東京都港区赤坂１丁目９番１５号
日　本　自　転　車　会　館

氏名　(6078)弁理士　小田島　平　吉

電話　３５８５－２２５６

４．補正命令の日付　　なし

５．補正の対象

特許請求の範囲

６．補正の内容

別紙に記載のとおり

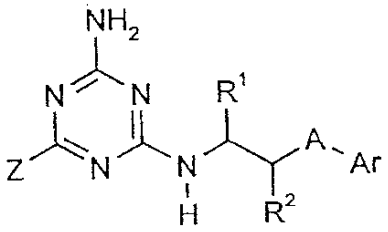
特許庁
16.9.28
出願支援課
窓口

方式審査

別紙

請　求　の　範　囲

１．一般式（Ｉ）



(I)

式中、

R^1は各場合場合により置換されていてもよい２～６個の炭素原子を有するアルキルまたは３～６個の炭素原子を有するシクロアルキルを表し、

R^2は水素を表すかまたは１～４個の炭素原子を有するアルキルを表し、

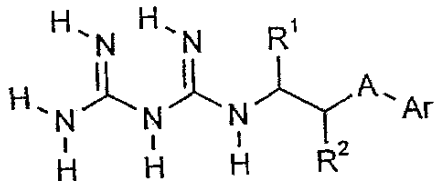
Ａは酸素またはメチレンを表し、

Ａｒは各場合場合により置換されていてもよいフェニル、ナフチルまたはヘテロシクリルを表し、そして

Ｚは水素を表し、ハロゲンを表すか、或いは各場合場合により置換されていてもよいアルキル、アルコキシ、アルキルカルボニル、アルコキシカルボニル、アルキルチオ、アルキルスルフィニル、アルキルスルホニル、アルケニルまたはアルキニルを表す、

で示される置換２－アミノ－４－アルキルアミノ－１，３，５－トリアジン。

２．（ａ）一般式（ＩＩ）



(II)

式中、R^1、R^2、AおよびArは各々請求の範囲第１項で定義した通りである、

で示される置換ビグアニドーおよび／または一般式（ＩＩ）の化合物の酸付加物を、一般式（ＩＩＩ）

$$Z-CO-OR' \qquad (III)$$

式中、

Ｚは請求の範囲第１項で定義した通りであり、そして

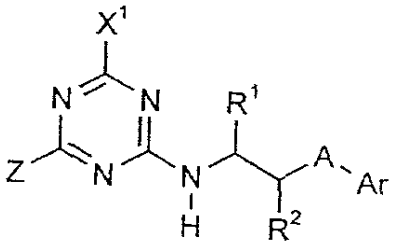
Ｒ′はアルキルを表す、

で示されるアルコキシカルボニル化合物と、

適当であれば反応補助剤の存在下および適当であれば希釈剤の存在下で反応させるか、

或いは、

（ｂ）一般式（ＩＶ）



(IV)

式中、

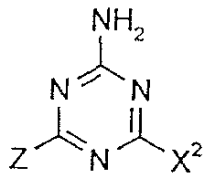
R^1、R^2、Ａ、ＡｒおよびＺは各々上記で定義した通りであり、そして

X^1はハロゲンまたはアルコキシを表す、

で示される置換トリアジンを、アンモニアと、適当であれば反応補助剤の存在下および適当であれば希釈剤の存在下で反応させるか、

或いは、

（ｃ）一般式（Ｖ）



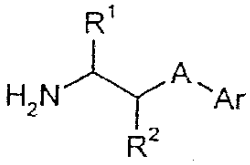
(V)

式中、

Ｚは上記で定義した通りであり、そして

X^2はハロゲンまたはアルコキシを表す、

で示される置換トリアジンを、一般式（ＶＩ）



(VI)

式中、R^1、R^2、ＡおよびＡｒは各々上記で定義した通りである、

で示される置換アルキルアミンと、適当であれば反応補助剤の存在下および適当であれば希釈剤の存在下で反応させ、

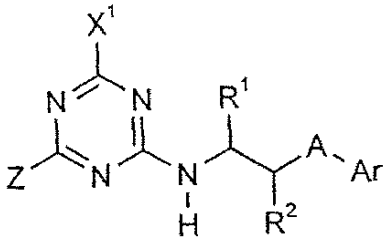
そして、適当であれば、（ａ）、（ｂ）または（ｃ）と記載した方法によって得られる一般式（Ｉ）の化合物に、常法によって置換基の上記の定義の範囲内にあるさらなる転化を行う、

ことを特徴とする請求の範囲第１項に記載の式（Ｉ）の化合物の製造方法。

３．請求の範囲第１項に記載の式（Ｉ）の化合物の少なくとも１種を含んでなることを特徴とする除草組成物。

４．請求の範囲第１項に記載の式（Ｉ）の化合物を雑草およびそれらの生息場所に作用させることを特徴とする雑草の抑制方法。

５．一般式（ＩＶ）



(IV)

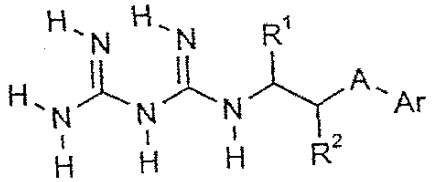
式中、

Ｒ^{1}、Ｒ^{2}、Ａ、ＡｒおよびＺは各々請求の範囲第１項で定義した通りであり、そして

Ｘ^{1}はハロゲンまたはアルコキシを表す、

で示される置換トリアジン。

６．一般式（ＩＩ）



(II)

式中、Ｒ^{1}、Ｒ^{2}、ＡおよびＡｒは各々請求の範囲第１項で定義した通りである、

で示される置換ビグアニドおよび／または一般式（ＩＩ）の化合物の酸付加物。